

いわて復興だより



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思ひます。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう！岩手 つながろう！岩手 第 130 号 平成 29 年 10 月号

内陸避難者向け「災害公営住宅」を 303 戸整備

内陸各地

岩手県では、東日本大震災津波により沿岸被災地から内陸部に避難した世帯向けに整備する災害公営住宅を県内内陸部に、303 戸建設する予定としています。

そのうち、県が整備する災害公営住宅は、盛岡市 168 戸、北上市 34

戸、奥州市 14 戸、一関市 35 戸の計 251 戸。市が整備する災害公営住宅は、花巻市 30 戸、遠野市 22 戸の計 52 戸。

県では、平成 28 年 1 月から内陸部に避難している被災者の入居希望調査を実施。入居希望者の入居要件の確認を行い、内陸部全ての建設場

所を確定させた上で、整備戸数を決定しました。

平成 31 年 12 月にすべての内陸避難者向け「災害公営住宅」が完成することを目指して、現在整備を進めています。

【県整備】

団地名	建設場所	建設戸数	完成予定
備後第 1 アパート	盛岡市月が丘 2 丁目地内	50 戸	平成 29 年度末～30 年 9 月
(仮称) 南青山アパート	盛岡市青山一丁目及び南青山町地内	118 戸	平成 31 年 12 月
(仮称) 黒沢尻アパート	北上市黒沢尻 4 丁目地内	34 戸	平成 31 年 12 月
(仮称) 桜屋敷アパート	奥州市水沢区字桜屋敷地内	14 戸	平成 31 年 9 月
駒下アパート	一関市萩荘字駒下地内	22 戸	平成 30 年度末
(仮称) 構井田アパート	一関市千厩町字構井田地内	13 戸	平成 31 年 9 月

【市整備】

団地名	建設場所	建設戸数	完成予定
(仮称) 花巻上町アパート	花巻市上町及び仲町地内	30 戸	平成 30 年度末
穀町市営住宅	遠野市穀町地内	16 戸	平成 29 年度末
稲荷下市営住宅	遠野市遠野町地内	6 戸	平成 30 年度末



工事が進む「県営備後第 1 アパート」(盛岡市)



「穀町市営住宅」(遠野市)の建設予定地

第 11 回「被災事業所復興状況調査」のデータから

岩手県では、東日本大震災津波で被災した市町村の産業（主に商工業）の復旧、復興状況を把握し、適宜復興に関する施策立案に反映させるため、「被災事業所復興状況調査」を実施しています。

これは、沿岸 12 市町村の商工会議所又は商工会の会員等で被災した事業所を対象に、年 1 回実施するもので、事業再開・復旧・雇用・業績・販路の状況、課題などを調査しています。

今回は、第 11 回（平成 29 年 8 月実施）の調査結果から、主なデータを紹介します。

事業再開の状況

「再開済」又は「一部再開済」：83.8%（前回調査：79.3%）

第 1 回から今回までの調査を基にした推計では、「再開済」又は「一部再開済」と回答した事業所の割合は 83.8%で、推計値が 80%を超えました。

産業分類別では、「再開済」又は「一部再開済」と回答した事業所の割合は、建設業が 96.6%で最も高く、次いで水産加工業が 88.2%でした。

事業所の復旧状況

「ほぼ震災前の状態に復旧」：60.1%（前回調査：55.2%）

「半分以上復旧している」と回答した事業所の割合は 76.6%で、前回調査（71.6%）から 5.0 ポイント上昇しました。

産業分類別では、「半分以上復旧している」と回答した事業所の割合は、水産加工業が 87.7%で最も高く、卸売小売業が 70.7%と最も低い結果となりました。

雇用の状況

「充足」又は「80～99%充足」：87.1%（前回調査：84.5%）

労働者の充足状況では、「充足率が 80%に満たない」と回答した事業所の割合が 12.9%で、前回より 2.5 ポイント減少しました。

また、必要な従業員が確保できている要因は「被災前からの雇用継続」が 35.4%と最も高く、必要な従業員が確保できていない要因は「地域の労働力人口減少」が 6 割を超えています。

詳しくは

被災事業所復興状況調査

検索

「宮古 - 室蘭」フェリー航路、 来年 6 月 22 日に就航

宮古市
MIYAKO

9 月 1 日（金）、川崎近海汽船株式会社（東京都）は、平成 30 年 6 月 22 日から、宮古港と室蘭港（北海道）を結ぶ新たなフェリー航路の運航を開始することを発表しました。港間距離 326 キロを 1 日 1 往復、毎日運航する予定で、所要時間は約 10 時間。運航ダイヤは、宮古港午前 8 時発・室蘭港午後 6 時着と、室蘭港午後 8 時発・翌朝 6 時宮古港着です。

フェリーは、総トン数 7,005 トン、全長 134 メートルの「シルバークイーン」が使用され、旅客定員 600 名、トラック（12 メートル車換算）69 台、乗用車 20 台を積載できます。

客室は、特等室 5 室（各室定員 2 名）、1 等室・洋室 17 室／和室 5 室（各室定員 4 名）、2 等寝台 60 名、2 等室 362 名、ドライバーズルーム 80 名。

岩手県は、宮古港藤原ふ頭に、乗客が乗り降りするボーディングブリッジや駐車場などの関連施設を含めた「フェリーターミナルビル」の整備を進めており、平成 30 年 3 月の完成を目指しています。



運航が決まった「シルバークイーン」（写真提供：川崎近海汽船株式会社）

「岩泉ヨーグルト」新工場完成、 販売再開

岩泉町
IWAIZUMI

昨年 8 月の台風第 10 号で被災した岩泉乳業株式会社（岩泉町乙茂）の新工場が完成し、10 月 8 日（日）、「岩泉ヨーグルト」の販売を県内で再開しました。

同社は、台風第 10 号による小本川の氾濫で本社工場と第 2、第 3 工場が浸水し、操業停止を余儀なくされていました。

旧第 2・第 3 工場を統合させた新第 2 工場では、被災前と同規模の 1 日約 10 トンのヨーグルトを製造します。

「岩泉ヨーグルト」は、地元産の生乳を 2 日間低温で長時間発酵させたもので、もっちりとした食感と濃厚な味わいが特徴。11 月には全国で「岩泉ヨーグルト」の販売が再開され、12 月からは本社工場が再稼働し、1 日約 12.8 トンの生産体制が可能となることから、「岩泉ヨーグルト」のインターネット販売と、「岩泉牛乳」の販売再開を予定しています。

全国のファンの応援に応える形となった「岩泉ヨーグルト」の復活により、今後、地場産業の振興に大きな弾みがつくことが期待されます。



再開した工場内部（写真提供：岩泉乳業株式会社）



復活した「岩泉ヨーグルト」

岩手県 東日本大震災津波の記録 2011.3.11

大槌町

あの日何があったのか。今一度、沿岸市町村別に東日本大震災津波を振り返り、御紹介します。



被災した大槌町内（写真提供：大槌町）



被災した JR 大槌駅（写真提供：大槌町）

- 津波痕跡高
19.0m 船越湾
15.1m 大槌湾
- 死者
803 人（直接死）
51 人（関連死）
- 行方不明者 422 人
- 家屋倒壊 4,167 棟

平成 29 年 9 月 30 日現在



1. 町方地区の被害状況

町の中心部である町方地区は、大槌川と小鉾川に挟まれた地域に位置し、多くの公共施設・商業施設が立地していました。この地区を襲った津波の最大浸水深は 10.7 メートルで、さらに津波が大槌川で約 3 キロメートル、小鉾川で約 2 キロメートルまで遡上したことにより、中心部のほぼ全域が浸水し壊滅的な被害となりました。

2. 防災拠点である、町役場の被災

海岸から直線距離で 300 メートルほどの位置にある町役場も津波の直撃を受け、2 階建ての庁舎の全てが浸水し、建物の中のものほぼすべてが流失。また、震災直後、災害対策本部を庁舎前の駐車場に設置しようとしていたところを津波に襲われたため、町長をはじめとする幹部職員 7 人を含む 40 人が犠牲となり、町の行政機能が一時的に停止しました。



復旧した大槌町の観光名所「蓬莱島」

防災集団移転促進事業 住宅団地整備工事が完了

大船渡市
OFUNATO

大船渡市が東日本大震災津波により被災した住宅を再建するため整備を進めてきた防災集団移転促進事業・住宅団地整備の工事が、9月5日（火）に全て完了しました。

同事業では、市内21地区の高台に宅地366戸を整備する計画で、平成25年3月から工事を実施。このうち同市赤崎町の中赤崎地区に着工していた森っこ34戸、洞川原3戸の計37戸の宅地造成工事が完了し、10月から住民への土地の引き渡しが始まりました。

同事業は、整備面積約27万5,000平方メートルに宅地、道路、公園、集会施設等を整備し、被災前のコミュニティを移転後も継続できるように計画を進めてきたものです。

同市では、昨年9月に全25団地計801戸の災害公営住宅の整備が完了しており、今回、住宅団地整備工事が完了したことから、住まいの再生に向け大きな節目を迎えることになりました。



宅地造成工事が完了した「森っこ・洞川原」の宅地造成地（写真提供：大船渡市）

津波防災施設「出前講座」 開催

久慈市
KUJI

9月12日（火）、久慈港諏訪下（すわした）地区で、津波の仕組みや防災について学ぶ、津波防災施設「出前講座」が開催されました。

この講座は、岩手県東北広域振興局土木部と岩手県立種市高等学校（洋野町）が共同で行ったもので、久慈市立長内（おさない）小学校の児童44人が参加しました。

最初に種市高等学校海洋開発科3年生7人が水槽を使い津波の仕組みを説明。児童は、波と津波の違いや水深が深くなるほど津波の速度が早くなることを学びました。

次に、児童らは、県の担当者から津波防災施設や避難の重要性について説明を受け、防潮堤に整備された金属製の大型扉「陸閘（りっこう）」を見学。陸閘の開閉操作を体験しました。

県北広域振興局は、管内（久慈市、洋野町、野田村、普代村）の児童・生徒を対象に出前講座を開催しており、今後も種市高等学校と一緒に次代を担う地域の子どもたちに津波と防災に関する理解を深めてもらう取組を進めていきます。



津波について学ぶ児童



「陸閘」の開閉体験の様子



実りの秋！食欲の秋！ さんりくイベント情報



EVENT

11/3
金・祝

収穫感謝まつり & 健康食まつり

岩泉町
IWAIZUMI

場所▶ 栃の木皆の川ふれあい広場

地元の格安な農産物や手打ちそば、手作りソーセージなどが販売されるほか、新米もちのお振る舞いや「龍泉洞黒豚」の丸焼きの試食、八杯豆腐の早食い競争など、盛りだくさんのイベントです。

問い合わせ▶ 収穫感謝まつり & 健康食まつり
実行委員会
☎ 0194-27-2156

11/4
土

秋のスマイル大収穫祭 うんめえ NODA まんぶくマルシェ 2017

野田村
NODA

11/5
日

場所▶ JA 新いわて野田支所特設会場

野田村のうんめえ食材が集まり、お客様に野田村の食材や郷土料理を味わっていただく、名前のお腹がまんぶくになるイベントです。野田村総合文化祭展示部門も同時開催されます。

問い合わせ▶ 野田産業まつり実行委員会
(野田村産業振興課内)
☎ 0194-78-2926

11/4
土

陸前高田市産業まつり

陸前高田市
RIKUZEN
TAKATA

11/5
日

場所▶ アバッセたかた
まちなか広場

広田湾のカキやホタテ、米崎りんご、広田半島営農組合工房めぐ海のおやき、新ブランド米「たかたのゆめ」、気仙みそなど、陸前高田市の特産品が集まります。

問い合わせ▶ 陸前高田市産業まつり実行委員会
(陸前高田市商工観光課内)
☎ 0192-54-2111

11/5
日

水車まつり

久慈市
KUJI

場所▶ 桂の水車広場

昔懐かしい雰囲気の中、地元で採れた野菜や郷土料理の販売、水車の加工実演、郷土芸能の披露などが行われます。なかでも山根名物の豆腐田楽は人気です。

問い合わせ▶ 山根六郷研究会
(久慈ステーションホテル内)
☎ 0194-53-5281

11/25
土

鮭・あわびまつり

宮古市
MIYAKO

11/26
日

場所▶ 新道の駅たろうイベント広場
(田老町漁業協同組合ビル西側)

「鮭のつかみどり」(有料定員制)をはじめ、特産の生鮭やアワビなどの海産物の販売のほか、郷土芸能、鮭汁の無料提供、餅まきなどが行われます。

問い合わせ▶ 田老観光イベント実行委員会
(宮古市田老総合事務所内)
☎ 0193-87-2971

11/26
日

山田の鮭まつり

山田町
YAMADA

場所▶ 山田魚市場特設会場

特設いけすプールでの「鮭のつかみどり」(有料定員制)やカキ・ホタテすくいなどが行われるほか、新巻鮭やイクラ、カキやホタテなどの海産物販売やお楽しみ抽選会などイベントが盛りだくさんです。

問い合わせ▶ 山田町水産商工課
☎ 0193-82-3111

